



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社NSD
コード番号 9759 URL <https://www.nsd.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今城 義和
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレートセクレタリー部長 (氏名) 八木 清公 (TEL) 03-3257-1250
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	50,333	33.3	7,365	23.4	7,412	23.3	4,402	△16.0
2023年3月期第2四半期	37,767	10.0	5,970	14.3	6,012	13.5	5,244	50.1

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 4,782百万円(△13.8%) 2023年3月期第2四半期 5,545百万円(56.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	57.23	57.22
2023年3月期第2四半期	67.57	67.56

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	80,266	57,508	69.7
2023年3月期	68,159	55,458	80.3

(参考) 自己資本2024年3月期第2四半期 55,965百万円 2023年3月期 54,709百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	10.00	—	57.00	67.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	68.00	68.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	101,000	29.5	15,000	19.8	15,100	19.2	9,800	△4.1	127.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(注) 特定子会社の異動には該当いたしません。第1四半期連結会計期間において株式取得に伴い、株式会社アートホールディングス及びその子会社7社並びに株式会社ノーザ及びその子会社1社を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	87,000,000株	2023年3月期	87,000,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	9,703,856株	2023年3月期	10,131,584株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	76,939,450株	2023年3月期2Q	77,613,143株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

- 四半期決算補足説明資料は、2023年10月31日(火)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10
(収益認識関係)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

【環境認識】

当第2四半期連結累計期間における我が国経済につきましては、物価上昇や円安の進展等から景気の先行きに不透明感があつたものの、社会経済活動の正常化に伴い、インバウンド消費をはじめ個人消費が回復したほか、企業業績や雇用情勢についても改善の動きがみられ、景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、ウクライナや中東の情勢、海外経済の減速等、景気下振れのリスクも懸念され、今後の動向には留意が必要です。

当社グループが属する情報サービス産業につきましては、引き続きDX（デジタルトランスフォーメーション）に向けた旺盛なIT投資が進むとともに、基幹システムの刷新ニーズもあり、受注環境は良好に推移しました。

【当第2四半期連結累計期間の取り組み】

当社グループは、2022年3月期からの5ヵ年の中期経営計画を策定し、計画期間中に連結売上高1,000億円を超える企業グループを目指しています。

この業績目標の達成に向け、当社グループは、社会的ニーズの強い新技術・DX関連のシステム開発を成長ドライバーとして、システム開発事業の持続的な拡大を進めるとともに、ソリューション事業を第2の収益の柱とするため、新たなソリューションの創出と販売力の強化を進めています。

以上のオーガニック成長に加え、ノンオーガニック成長にも注力し、深刻化するシステム・エンジニア（SE）不足への対応や、ソリューションのラインアップの充実を加速しています。現中期経営計画においては、200億円のM&Aの資金を準備しました。

当第2四半期連結累計期間においては、4月にシステム開発事業に強みのある株式会社アートホールディングスを子会社化し、400名超のシステム・エンジニアを増員しました。同社を持株会社とするアートグループは、福井県を本拠地とし、保険、クレジットカード、電機、電子機器、自動車等の大手優良企業からなる顧客基盤と、地元優良企業として質の高い人財を擁しています。

また、ソリューション事業の強化を目的に、5月にデンタルシステム事業に強みのある株式会社ノーザを子会社化し、歯科向けレセプトコンピューターシステムや透析業務支援システムなどの医療領域のソリューションを充実させました。

M&Aにつきましては、昨年のTrigger株式会社を含め、合計で3社、194億円の投資を実行しましたが、SE不足やソリューション・ラインアップの充実は引き続き重要な課題であり、良い投資先があれば引き続きM&Aに取り組んでまいります。

【当第2四半期連結累計期間の実績】

当第2四半期連結累計期間の実績につきましては、受注環境が良好に推移したことを背景に、以下のとおりとなりました。

単位：百万円

	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	前年同期比	
システム開発事業	33,793	42,743	8,949	26.5%
ソリューション事業	3,973	7,590	3,616	91.0%
売上高	37,767	50,333	12,566	33.3%
うち 新コア事業	13,424	21,530	8,106	60.4%
営業利益	5,970	7,365	1,395	23.4%
経常利益	6,012	7,412	1,399	23.3%
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,244	4,402	△841	△16.0%
EBITDA	6,324	8,698	2,374	37.6%
EBITDAマージン	16.7%	17.3%	0.5%	—

※ 新コア事業とは、新技術・DX関連のシステム開発事業、及びソリューション事業をいいます。

※ EBITDAは「営業利益+減価償却費+のれん償却額」により算出しています。

売上高につきましては、順調なオーガニック成長に加え、M&Aによる事業拡大が寄与し、前年同期比33.3%増収の50,333百万円となりました。このうち注力分野である新コア事業につきましては、クラウドを利用した新技術・DX関連のシステム開発事業が大きく伸長したほか、新たなソリューションによる売上も寄与し、前年同期比60.4%増収の21,530百万円となりました。

営業利益は、ベースアップやのれん償却の発生などの費用の増加もありましたが、これらを吸収し前年同期比23.4%増益の7,365百万円となり、経常利益は前年同期比23.3%増益の7,412百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期の特別利益に計上した関係会社株式売却益の影響がなくなったことに加え、税効果の対象とならないのれん償却額の増加等により、実効税率が上昇し、前年同期比16.0%減益の4,402百万円となりました。

【セグメント別の実績】

セグメント別の実績は以下のとおりとなりました。

(セグメント別売上高)

単位：百万円

		2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	前年同期比	
システム 開発事業	金融IT	11,966	15,300	3,333	27.9%
	産業・社会基盤IT	16,855	21,871	5,015	29.8%
	ITインフラ	5,061	5,681	620	12.3%
ソリューション事業		3,983	7,595	3,612	90.7%
調整額		△99	△114	△15	—
合 計		37,767	50,333	12,566	33.3%

(セグメント別営業利益)

単位：百万円

		2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	前年同期比	
システム 開発事業	金融IT	2,118	2,766	647	30.6%
	産業・社会基盤IT	2,754	3,211	457	16.6%
	ITインフラ	886	934	48	5.4%
ソリューション事業		318	612	293	91.9%
調整額		△108	△159	△51	—
合 計		5,970	7,365	1,395	23.4%

※ セグメント間の内部取引を含んだ計数を記載しています。

※ 調整額とは、セグメント間取引消去額および全社費用（セグメントに帰属しない一般管理費等）をいいます。

<システム開発事業（金融IT）>

金融向けソフトウェア開発事業につきましては、システム更改案件をはじめ既存案件の拡大により大手銀行、保険会社、カード会社からの受注が大きく伸長したほか、アートグループをM&Aした効果もあり、売上高は、前年同期比27.9%増収の15,300百万円となり、営業利益は、30.6%増益の2,766百万円となりました。

<システム開発事業（産業・社会基盤IT）>

産業・社会基盤向けソフトウェア開発事業につきましては、サービス業、製造業、商業からの受注が大きく伸長したほか、アートグループ及びTrigger株式会社をM&Aした効果もあり、売上高は、前年同期比29.8%増収の21,871百万円となりました。営業利益は、M&Aに伴うのれん償却額等の増加により、16.6%増益の3,211百万円となりました。

<システム開発事業（ITインフラ）>

ITインフラ事業につきましては、官公庁向けインフラ構築案件、銀行・保険向けのクラウド案件など、公共団体や金融業からの受注が大きく伸長した結果、売上高は、前年同期比12.3%増収の5,681百万円となりました。営業利益は、M&Aに伴い原価率が上昇した結果、5.4%増益の934百万円となりました。

<ソリューション事業>

ソリューション事業につきましては、医療・ヘルスケアやRFID関連のM&Aによる新規のソリューションが事業拡大に大きく貢献したほか、既存ソリューションも拡大した結果、売上高は、前年同期比90.7%増収の7,595百万円となりました。営業利益は、収益性の改善もあり91.9%増益の612百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産及び負債は、M&Aにより株式会社アートホールディングス及び株式会社ノーザを連結したことを主因として増加し、総資産は前連結会計年度末比12,106百万円増加の80,266百万円、また、負債は10,056百万円増加の22,757百万円となりました。

総資産の増加の内訳は、受取手形、売掛金及び契約資産の増加2,389百万円、土地建物の増加3,346百万円、のれんの増加8,381百万円、顧客関連資産の増加8,440百万円、その他無形固定資産の増加708百万円、投資その他の資産の増加966百万円、並びに現金及び預金の減少13,060百万円などです。

負債の増加の内訳は、買掛金の増加685百万円、短期借入金（一年以内返済予定の長期借入金を含む）の増加1,888百万円、賞与引当金の増加1,403百万円、長期借入金の増加1,686百万円、固定負債その他の増加3,305百万円などです。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益による増加4,402百万円、配当金支払いによる減少4,381百万円、自己株式の取得並びに処分による増加969百万円、非支配株主持分の増加793百万円などから前連結会計年度末比2,049百万円増加し、57,508百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、25,225百万円となり、前連結会計年度末比13,072百万円の減少となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益7,410百万円による収入を主因に6,486百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出15,292百万円等により、15,556百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額4,381百万円、自己株式の売却による収入1,400百万円等により、4,108百万円の支出となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における受注環境が良好に推移したこと等から、売上高・利益とも当初予想を上回る結果となりました。

第3四半期以降も引き続き良好な受注環境が継続する見込みであることを踏まえ、通期連結業績予想を以下のとおり修正します。

(2024年3月期通期連結業績予想)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	97,000	14,000	14,000	8,700	113.18
今回修正予想 (B)	101,000	15,000	15,100	9,800	127.24
増減額 (B-A)	4,000	1,000	1,100	1,100	—
増減率	4.1%	7.1%	7.9%	12.6%	—
(ご参考) 2023年3月期実績	77,982	12,524	12,662	10,219	132.31

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	38,366,801	25,306,093
受取手形、売掛金及び契約資産	16,077,460	18,466,885
有価証券	-	200,520
商品及び製品	189,871	376,989
仕掛品	4,025	24,127
原材料及び貯蔵品	10,698	183,538
その他	505,137	855,942
貸倒引当金	△34,700	△41,475
流動資産合計	55,119,293	45,372,621
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	632,491	1,576,728
土地	196,186	2,598,898
その他(純額)	488,895	498,084
有形固定資産合計	1,317,573	4,673,712
無形固定資産		
のれん	2,582,414	10,963,729
顧客関連資産	-	8,440,219
その他	593,871	1,302,395
無形固定資産合計	3,176,285	20,706,345
投資その他の資産		
投資有価証券	1,668,765	1,660,526
その他	6,878,817	7,853,627
貸倒引当金	△783	△812
投資その他の資産合計	8,546,799	9,513,341
固定資産合計	13,040,659	34,893,398
資産合計	68,159,952	80,266,020

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,952,554	4,637,773
短期借入金	-	1,250,000
1年内返済予定の長期借入金	-	638,835
未払法人税等	2,929,594	3,062,691
賞与引当金	477,113	1,880,736
役員賞与引当金	-	24,000
株主優待引当金	69,089	134,335
受注損失引当金	3,097	1,749
製品保証引当金	3,943	-
その他	3,688,273	4,108,444
流動負債合計	11,123,665	15,738,565
固定負債		
長期借入金	-	1,686,079
役員退職慰労引当金	-	15,021
退職給付に係る負債	955,696	1,390,966
その他	621,843	3,926,868
固定負債合計	1,577,540	7,018,935
負債合計	12,701,206	22,757,500
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,205,864	7,205,864
資本剰余金	6,773,912	7,458,877
利益剰余金	51,070,853	51,092,343
自己株式	△12,144,105	△11,859,647
株主資本合計	52,906,525	53,897,438
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	575,729	685,962
土地再評価差額金	△8,682	△8,682
為替換算調整勘定	362,955	513,080
退職給付に係る調整累計額	872,811	877,838
その他の包括利益累計額合計	1,802,813	2,068,198
非支配株主持分	749,407	1,542,882
純資産合計	55,458,746	57,508,519
負債純資産合計	68,159,952	80,266,020

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	37,767,231	50,333,920
売上原価	29,521,743	38,251,898
売上総利益	8,245,488	12,082,021
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	819,557	1,343,379
賞与引当金繰入額	106,030	208,471
役員賞与引当金繰入額	15,300	24,000
役員退職慰労引当金繰入額	-	1,397
退職給付費用	22,244	42,580
福利厚生費	232,667	366,229
賃借料	186,620	308,351
減価償却費	44,149	492,031
研究開発費	62,969	107,343
のれん償却額	130,169	620,452
株主優待引当金繰入額	60,746	69,530
その他	594,966	1,132,773
販売費及び一般管理費合計	2,275,422	4,716,540
営業利益	5,970,065	7,365,481
営業外収益		
受取利息	2,764	3,039
受取配当金	23,283	21,588
保険解約返戻金	643	39,691
その他	39,710	43,892
営業外収益合計	66,402	108,212
営業外費用		
支払利息	4,216	10,198
持分法による投資損失	15,784	-
為替差損	-	17,184
支払手数料	1,599	21,265
その他	2,332	12,240
営業外費用合計	23,932	60,889
経常利益	6,012,536	7,412,805
特別利益		
関係会社株式売却益	1,605,352	-
その他	413	-
特別利益合計	1,605,765	-
特別損失		
投資有価証券売却損	-	2,238
ゴルフ会員権評価損	21,641	-
投資有価証券評価損	21,071	-
特別損失合計	42,712	2,238
税金等調整前四半期純利益	7,575,588	7,410,566
法人税等	2,287,418	2,900,489
四半期純利益	5,288,169	4,510,077
非支配株主に帰属する四半期純利益	44,016	107,088
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,244,153	4,402,989

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
四半期純利益	5,288,169	4,510,077
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	59,168	111,495
為替換算調整勘定	170,430	155,968
退職給付に係る調整額	23,477	5,026
持分法適用会社に対する持分相当額	4,121	-
その他の包括利益合計	257,197	272,490
四半期包括利益	5,545,367	4,782,568
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,497,729	4,668,374
非支配株主に係る四半期包括利益	47,637	114,194

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,575,588	7,410,566
減価償却費	223,979	713,043
のれん償却額	130,169	620,452
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,197,905	1,303,154
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	15,300	24,000
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5,795	△7,238
株主優待引当金の増減額(△は減少)	54,882	65,246
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	36,202	99,926
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△16,608	37,823
受取利息及び受取配当金	△26,048	△24,627
支払利息	4,216	10,198
関係会社株式売却損益(△は益)	△1,605,352	-
売上債権の増減額(△は増加)	2,052,469	4,621
棚卸資産の増減額(△は増加)	△14,576	286,351
その他の流動資産の増減額(△は増加)	88,006	△30,569
仕入債務の増減額(△は減少)	△40,275	△117,035
未払消費税等の増減額(△は減少)	△216,836	△194,731
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△489,383	△714,434
その他	137,575	51,105
小計	9,101,419	9,537,852
利息及び配当金の受取額	183,098	25,463
利息の支払額	△4,255	△6,148
法人税等の還付額	4,796	1,982
法人税等の支払額	△2,141,345	△3,073,047
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,143,712	6,486,103
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△75,022	△80,977
定期預金の払戻による収入	74,938	78,494
有形固定資産の取得による支出	△52,255	△140,597
無形固定資産の取得による支出	△91,923	△137,134
関係会社株式の売却による収入	5,103,150	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△15,292,744
その他	△59,929	16,798
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,898,957	△15,556,161
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	-	1,775,000
長期借入金の返済による支出	-	△375,028
配当金の支払額	△4,048,446	△4,381,499
短期借入金の純増減額(△は減少)	-	△1,775,000
非支配株主への配当金の支払額	△28,666	△271,318
自己株式の取得による支出	△2,177,683	△430,967
自己株式の売却による収入	-	1,400,390
その他	△47,872	△49,633
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,302,669	△4,108,055
現金及び現金同等物に係る換算差額	87,175	105,605
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,827,177	△13,072,507
現金及び現金同等物の期首残高	29,757,178	38,297,623
現金及び現金同等物の四半期末残高	35,584,355	25,225,115

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

また、一部の子会社につきましては、前連結会計年度の実際実効税率を用いて計算をしております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	システム開発事業			ソリューション 事業	計		
	金融 I T	産業・社会基盤 I T	I Tインフラ				
売上高							
外部顧客への売上高	11,966,893	16,774,114	5,052,238	3,973,984	37,767,231	—	37,767,231
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	81,143	8,893	9,130	99,167	△99,167	—
計	11,966,893	16,855,257	5,061,132	3,983,115	37,866,399	△99,167	37,767,231
セグメント利益	2,118,780	2,754,026	886,705	318,912	6,078,425	△108,360	5,970,065

(注) 1. セグメント利益の調整額△108,360千円には、セグメント間取引消去39千円、全社費用△108,399千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	システム開発事業			ソリューション 事業	計		
	金融 I T	産業・社会基盤 I T	I Tインフラ				
売上高							
外部顧客への売上高	15,281,330	21,793,451	5,668,307	7,590,831	50,333,920	—	50,333,920
セグメント間の内部 売上高又は振替高	18,704	77,725	13,328	5,150	114,909	△114,909	—
計	15,300,034	21,871,177	5,681,635	7,595,982	50,448,829	△114,909	50,333,920
セグメント利益	2,766,320	3,211,879	934,849	612,010	7,525,058	△159,577	7,365,481

(注) 1. セグメント利益の調整額△159,577千円は、全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間に実施した株式会社アートホールディングスの株式取得について、取得原価の配分が完了していなかったため、のれんの金額は暫定的に算定された金額でありましたが、当第2四半期連結会計期間に取得原価の配分が完了し、暫定的な会計処理が確定したため、のれんの金額が暫定的に算定した11,210,202千円から、システム開発事業(金融IT)2,745,960千円、システム開発事業(産業・社会基盤IT)2,240,245千円、システム開発事業(ITインフラ)122,955千円、ソリューション事業1,057,652千円にそれぞれ変動しております。

また、第1四半期連結会計期間に実施した株式会社ノーザの株式取得について、取得原価の配分が完了していなかったため、のれんの金額は暫定的に算定された金額でありましたが、当第2四半期連結会計期間に取得原価の配分が完了し、暫定的な会計処理が確定したため、のれんの金額が暫定的に算定した3,789,569千円から、ソリューション事業2,403,311千円にそれぞれ変動しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	システム開発事業			ソリューション事業	
	金融IT	産業・社会基盤IT	ITインフラ		
システム開発	11,704,414	15,841,340	3,964,866	—	31,510,622
保守・運用	—	127,680	988,735	—	1,116,415
その他	262,478	805,093	98,636	—	1,166,209
サービス	—	—	—	2,407,331	2,407,331
プロダクト	—	—	—	1,566,652	1,566,652
顧客との契約から生じる収益	11,966,893	16,774,114	5,052,238	3,973,984	37,767,231
外部顧客への売上高	11,966,893	16,774,114	5,052,238	3,973,984	37,767,231

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	システム開発事業			ソリューション事業	
	金融IT	産業・社会基盤IT	ITインフラ		
システム開発	15,006,383	20,725,029	4,551,556	—	40,282,969
保守・運用	1,695	152,176	686,211	—	840,083
その他	273,251	916,244	430,539	—	1,620,035
サービス	—	—	—	6,007,163	6,007,163
プロダクト	—	—	—	1,583,668	1,583,668
顧客との契約から生じる収益	15,281,330	21,793,451	5,668,307	7,590,831	50,333,920
外部顧客への売上高	15,281,330	21,793,451	5,668,307	7,590,831	50,333,920